

科目・コース（ユニット）名： 人文・社会科学（ジェンダー論）
英語名称： Gender Studies

【担当責任者】 前川 直哉

【連絡先】 r873@ipc.fukushima-u.ac.jp

【開講年次】 1 年, 【学期】 前期, 【必修／選択】 選択必修,

【授業形態】 講義

【概要】

近年の日本では、働く女性の数も、男性の育児休業取得率も確実に増加している。多様な性への理解も、以前よりは進んだ。一方で現在もなお、男女の平均賃金には大きな差があること、子育ての負担が母親に多くかかっていることや、性的マイノリティがさまざまな生きづらさを抱えていることも確かである。これらはいずれも、客観的なデータで示すことができる。

人々の生き方が急激に変化するなか、ジェンダーやフェミニズム、性的マイノリティに関する話題が、これまでにないほど注目を集めている。日本のジェンダーギャップ指数の低迷や、性的マイノリティに対する理解増進法の制定など、ジェンダーについて学ぶ重要性は近年、ますます高まっているといえるだろう。

その一方で、ネット上などでは事実と反する思い込みから議論が展開されている場面も少なくない。例えばベル・フックスは「フェミニズム」を「性差別をなくし、性差別的な搾取や抑圧をなくす運動」と定義し、男性に反対する運動ではなく、性別を問わず全ての人が学ぶべきものと説いた。こうした定義を知らず、フェミニズムを誤解したまま議論がなされている様子を見かけることも残念ながら珍しくない。

本講義では、現在の私たちが知っておくべきジェンダーに関する知識を学習するとともに、具体的な事実やデータに基づいて、考察を深めていくことをめざす。

※本講義ではテキスト『基礎ゼミ ジェンダースタディーズ』を使用し、シラバスの各回授業内容にあるような身近な問い（テキストの各章タイトル）を題材としたワークを用いながら理解を深める。巻末のワークシートを毎回提出するため、電子書籍版ではなく紙版のものを各自用意しておくこと。

※授業では一部、性暴力のテーマを扱う回がある（受講が難しい場合は該当回の途中退出等を認める）。

【学習目標】

- ①ジェンダー・セクシュアリティに関する基本的な知識を身に付け、他者に正しく説明することができる。
- ②ジェンダー・セクシュアリティに関わる諸課題について、量的データ・質的データなど客観的な根拠を正しく用いて議論することができる。

【教科書】

守如子・前川直哉 編著『基礎ゼミ ジェンダースタディーズ』（世界思想社、2025 年）

毎回、巻末のワークシートの提出を課するため、電子書籍ではなく紙のバージョンを用意すること。

【参考書】

- ・若桑みどり『お姫様とジェンダー』（ちくま新書、2003年）
- ・浅倉むつ子他『導入対話による ジェンダー法学』（不磨書房 2003年）
- ・小林美佳『性犯罪被害にあうということ』（朝日文庫 2011年）
- ・角田由紀子『性と法律——変わったこと、変えたいこと』（岩波新書、2013年）
- ・牟田和恵『部長、その恋愛はセクハラです！』（集英社新書 2013年）
- ・『現代思想 第46巻第11号』（青土社 2018年7月1日発行）
- ・『現代思想 2020 臨時増刊号 フェミニズムの現在』（青土社 2020年3月）
- ・瀬地山角『炎上CMでよみとくジェンダー論』（光文社新書 2020年）
- ・石田仁『はじめて学ぶLGBT 基礎からトレンドまで』（ナツメ社、2019年）
- ・森山至貴『LGBTを読みとく：クィア・スタディーズ入門』（ちくま新書、2017年）
- ・前川直哉『〈男性同性愛者〉の社会史：アイデンティティの受容／クローゼットへの解放』（作品社、2017年）
- ・杉浦郁子・前川直哉『「地方」と性的マイノリティ：東北6県のインタビューから』（青弓社、2022年）

【成績評価方法】

毎回の授業への積極的な参加および、毎回提出のワークシートを元に評価する。場合により、期間中に小レポート等の課題を課す場合もある。授業内のワークは原則、個人ワーク2回、グループワーク1回となっている。いずれも積極的に参加すること。
なお、出席は3分の2以上出席することを要件とする。

【学習上の注意事項】

- ・積極的に学ぶ姿勢をもって授業に臨むこと。
- ・授業の特性上、性に関わるテーマを扱う。
- ・授業では一部、性暴力のテーマを扱う回がある（受講が難しい場合は該当回の途中退出等を認める）。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	4/16	木	3	（講）「女らしさ・男らしさ」を決めるのは誰？	二瓶	1章

2	4/23	木	3	(講) フェミニストは「萌え絵」が嫌い？	二瓶	2 章
3	4/30	木	3	(講) LGBT は私のまわりにはいないのか？	前川	3 章
4	5/7	木	3	(講) 女性はメイクをしなければだめ？	二瓶	4 章
5	5/14	木	3	(講) これは男子の遊び？それとも侵害行為？	前川	5 章
6	5/21	木	3	(講) 学校にもジェンダー差別はあるのか？	前川	6 章
7	5/28	木	3	(講) スポーツは男性の方が向いている？	前川	7 章
8	6/4	木	3	(講) 少子化は「女性の社会進出」が原因？	二瓶	8 章
9	6/11	木	3	(講) あなたにとって「家族」とは誰？	二瓶	9 章
10	6/25	木	2	(講) 女性専用車両は「男性差別」か？	二瓶	10 章
11	6/25	木	3	(講) ネットでフェミニズムは変わったか？	二瓶	12 章
12	7/2	木	2	(講) 災害の被害は平等か？	前川	11 章
13	7/2	木	3	(講) ケア役割は誰のもの？	前川	13 章
14	7/9	木	2	(講) 女性にも「特権」はあるの？	前川	14 章
15	7/9	木	3	(講) 「トランスジェンダー問題」とは何か？	前川	15 章

※スケジュールは場合により、変更することがある。

【担当教員】

教員氏名	職	所属
前川直哉	准教授	福島大学
二瓶由美子	社外取締役	福島銀行 ※桜の聖母短期大学元教授、福島大学非常勤講師